とことん討論会の成果

班名	日頃の活動における課題	午前/午後の報告で印象に残った事柄	これからの10年を見通して何をすべきか	キーワード3つ
A	<ul style="list-style-type: none"> ・人材の不足/人材の確保 (若い人が少ない) ・情報が少ない ・資金 (自社財源) ・資質を上げたい (運営方法/活動全般) 	<ul style="list-style-type: none"> ・次世代の育成 ・文化以外の事も視野に入れたい ・中間支援の必要性 ・広報の分かり易い表現 ・生態系の視点/持続可能な地域文化 	<ul style="list-style-type: none"> ・ボランティアという言葉を考え直す (ボランティア活動を柔軟に考える) ・組織づくり/リノベーション ・世代間の風通しを良くする ・異業種/異年代/異国籍のつながり 	<ul style="list-style-type: none"> ・ボランティアとは ・異年代 ・コミュニケーション機会
B	<ul style="list-style-type: none"> ・時間がない ・人手不足、新しい仲間 ・若い人が増えて欲しい ・健康・年齢 	<ul style="list-style-type: none"> ・災害ボランティアは道德 ・文化ボランティアは楽しく興味あることの応援 ・なぜボランティアが必要なのか出来る範囲ではだめなの 	<ul style="list-style-type: none"> ・新しい人へつなぐ ・ノウハウを身に付ける 	<ul style="list-style-type: none"> ・丁寧な説明
C	<ul style="list-style-type: none"> ・楽しむこと (やりがい) ・世代交代 ・継続 ・体力 (健康) ・活動者 (会員) を集める事 	<ul style="list-style-type: none"> ・広報・宣伝の分かり易さ/仕方 ・社会に関心を持つことの必要性 ・持続可能な地域文化のあり方 	<ul style="list-style-type: none"> ・人の和/人との繋がり的重要性 ・分かり易い活動 (広報/チラシ/SNS) ・気楽さの意識 	<ul style="list-style-type: none"> ・継続 ・分かり易い活動 ・つながり
D	<ul style="list-style-type: none"> ・情報の伝達方法の世代間交流ギャップ ・会員の高齢化、世代交代 ・ボランティアの責任・若者の募集方法/地域の繋がりSNSでの繋がりどちらが大事 ・ボランティアは有償か無償か ・会員の協力が頼もしく現在は充実している 	<ul style="list-style-type: none"> ・ボランティア団体の分かりやすい名称 	<ul style="list-style-type: none"> ・交流で仲間ができる ・新しいことへの挑戦 	<ul style="list-style-type: none"> ・人を楽しくさせ自分も楽しめる ・愛と音楽で心をつなぐ ・とびうめの会のキャッチコピーを考える

E	<ul style="list-style-type: none"> ・若い人の参加がない ・ボランティアという言葉だけでは魅力がないため ・世代交代 	<ul style="list-style-type: none"> ・ボランティア同士の学び合い ・人の繋がりを点→線→面と広げていく ・安心して活動できる循環めざす 	<ul style="list-style-type: none"> ・政府の報告書等に意識を傾けて社会の流れから遅れないように ・一度自分の気持ちをリセットすることも大事 ・基本の基をはっきりしておく ・フォーラム後の交流の広がり ・文化の循環がスムーズになるようにめざす ・SNS等も利用していく 	<ul style="list-style-type: none"> ・学生等若い人が気を引く言葉、キャッチフレーズを考える ・社会の変化に対応できる柔軟性を持つ（ニュース等に目を向ける） ・共感の大切さ
F	<ul style="list-style-type: none"> ・専門知識のスキル ・ボランティア（後継者、同士）の仲間づくり ・自分自身が楽しんで活動すること 	<ul style="list-style-type: none"> ・地域にも溶け込んでいきたい ・日本とアメリカの幸福の推移 ・情報発信の分かり易いデザイン化 ・次世代層の育成 ・ボランティアで本人と周りの人のギャップ 	<ul style="list-style-type: none"> ・参加者を増やす ・知識や技術を継承するための若者参加 ・ボランティア同士の仲間づくり ・問題点の共有 ・情報発信の方法を習得する 	<ul style="list-style-type: none"> ・無理なく出来て楽しめること ・メンバーの繋がりを！ ・ビジョンを共有する ・ボランティアは、有償/無償、やり甲斐、自己満足
G	<ul style="list-style-type: none"> ・世代交代 ・ボランティアの組織化、義務化はすべきではない ・コミュニケーション、食事会、飲み会 ・継続 		<ul style="list-style-type: none"> ・世代に合わせた調整 ・PRに力を入れる ・楽しさをPR（何をすれば楽しい） 	<ul style="list-style-type: none"> ・ゆっくり高度な情報発信 ・楽しさ、やりがい ・無理をしない、ビジュアル
H	<ul style="list-style-type: none"> ・一つの事業では持続が難しい ・高齢化をどうするか 		<ul style="list-style-type: none"> ・グローバル化（SNS等）の活用 ・30～40代が簡単に参加できるシーンをつくる ・ターゲットを絞った年齢層の募集 ちょっとだけ手伝える（30分位） 感覚 ・コミュニケーション、世代に合わせた情報発信資源 	<ul style="list-style-type: none"> ・軽い ・楽しさを大切に ・短時間でも